

◎雨水排水施設の経費

施設整備事業

下水道課・河川課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 雨水排水整備による浸水被害の防御のため。

効果 浸水被害等の解消を図る。

【事業の内容】

(1) 施設整備事業

- ・浸水被害解消に向け公共下水道の雨水管渠の整備を行った。
- ・下水道法第23条(公共下水道台帳の作成・保管・閲覧の義務付け)に基づき、下水道台帳の調製を行い市民等への情報提供を行った。
- ・浸水被害解消のため、坂本町低地排水施設を整備した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

雨水管渠の整備(5-6-1-④)

浸水・低地排水への対策(坂本町)(5-6-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
246,100	168,972	153,951		15,021

主な支出内訳

・施設整備事業

雨水管渠建設に伴う県道自費復旧事務費手数料	56
雨水管渠建設に伴う家屋損害状況調査業務委託料	0
雨水台帳調製委託料	1,696
雨水管渠築造工事請負費	140,356
地下埋設物移設等補償金	11,843

主な特定財源

・国県支出金	31,169
・地方債	108,152

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-34 施設整備事業 □支援部門									
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	543 雨水管渠整備事業								
主管課	河川課	関連課	道水路管理課・道路整備課・下水道課、総合防災課							
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	浸水被害の解消									
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考					
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日					
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯						
運営資源 状 況	決算値	152,255千円	145,542千円	199,975千円						
	(国・県)	31,169千円	25,277千円	15,657千円						
	(負担金等)	108,152千円	103,700千円	162,200千円						
	(一般財源)	12,934千円	16,565千円	22,118千円						
	人員配置数	4.5人	4.5人	5.0人						
	人 件 費	40,652千円	41,382千円	45,840千円						
協働の パートナー	神奈川県・横浜市	神奈川県・横浜市	神奈川県・横浜市							
事務事業 運営経費	総事業費	192,907千円	186,924円	245,815円						
	市民1人当 りの経費	1,093円	1,063円	1,404円						
	対象者1人 当りの経費									
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価										
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※					
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)				
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)			
雨水整備率	○	目標値	77%	77%						
		実績値	76%	77%						
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)			
雨水整備費	○	目標値	650,000	650,000						
		実績値	145,542	152,255						
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)			
		目標値								
		実績値								
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)			
		目標値								
		実績値								
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している										
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)										
団体名	鎌倉市	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	
	76.5%	61.4%	54.7%	51.9%	81.3%	76.5%	90.5%	63.6%	99.3%	
相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市	
	40.6%	68.4%	33.8%	53.7%	66.5%	25.1%	41.7%	32.2%	40.7%	66.6%

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 関連部署と、競合する工事箇所について調整する必要が生じた。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 関連部署と調整した結果、競合する工事箇所について合築工事で施工し、コスト縮減及び工期の短縮に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 雨水排水整備で、管渠等の計画断面を確保するにあたっては、鎌倉市域の特性として、雨水管を埋設する道路幅員が狭小で、また既に水道管やガス管などが埋設されており、断面の大きな雨水管を埋設するためには、移設補償費の増大や工事の困難性を伴う。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 浸水地域を対象に策定した「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」に基づき効率的な雨水整備を進める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	近年の都市型水害からの被害を軽減させるために「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」に基づき、雨水排水整備を積極的に進める。				
担当課長氏名:		河川課長 稲葉博行			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」に基づき、浸水被害の解消・軽減に向け取り組む。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 下水道法第23条(公共下水道台帳)の規定により、公共下水道管理者は、その管理する公共下水道の台帳を調製し、これを保管しなければならない、新たな雨水施設の整備、開発等による寄付行為に伴う経年ごとの台帳の調製が必要となる。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 雨水施設の、位置、形状、内法寸法、勾配、深さ、延長、流れの方向、人孔や樹の位置、種類、吐口の位置並びに放流先の名称、高水位、低水位等について表示し、下水道施設の維持管理に係る基礎資料とすると共に、下水道法に基づく閲覧に供した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 新たな雨水施設の整備、開発等による寄付行為に伴い、経年ごとに台帳の調製更新を行っているが、変更事項が生じた時点毎の更新が望まれる。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 変更事項が生じた時点で、速やかに台帳の調製更新ができる体制の検討を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	下水道台帳の調製更新は、速やかに対応できるシステム構築が必要である。				
担当課長氏名:		下水道課長 大坪 隆			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	下水道施設の計画的、効率的管理を行う必要から、新たな下水道台帳システムの導入に向けた検討する。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		